



庶務部
広報課

原口 柚香

(はらぐち ゆずか)
平成28年入局

私は、入局後、広報課普及係に配属されました。現在、「特別体験プログラム」の実施や受付、外部からの問合せ対応、広報用パンフレット類の編集や発注、写真撮影などを担当しています。

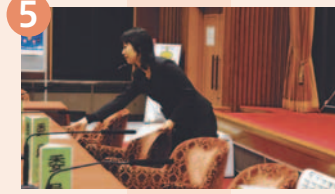
「特別体験プログラム」とは、子どもたちが委員会・本会議での法案審議を通じて、法律ができるまでの流れをロールプレイ形式で模擬体験し、国会について学ぶことができる参加型のプログラムで、参議院が独自に行っているものです。小学5年生から中学3年生を対象に1日4回実施しています。私は会議の進め方やテーマとなる模擬法案の内容を説明するとともに、子どもたちの議事進行を手助けするインストラクターを務めています。プログラム終了後に、子どもたちや先生から「勉強になりました」、「分かりやすかったです」という声やお礼の手紙を頂くと、嬉しく思うと同時にやりがいを感じます。全国の子どもたちに御参加いただき、平成28年9月には体験者数が100万人を突破しました。

また、広報課には、外部から電話や電子メールなどで問合せが寄せられます。こうした問合せには、日頃から正確かつ分かりやすい回答を心掛けています。回答する上で必要となる情報を収集する中で、新しい知識を習得できるため、自分自身の成長につながると感じています。厳しい御意見を頂くこともありますが、丁寧に説明しお話を伺ううちに、「教えてくれてありがとう」というお言葉を頂けると嬉しく思います。

以上の業務のほかに、参議院見学ガイド（小学生用、中学生用、一般用、英語、中国語、韓国語、点字）という冊子や特別体験プログラム用パンフレットの編集や発注、それらに掲載する写真の撮影も行っています。

このように広報課は国民の皆様との接点が多いため、参議院事務局の「顔」としての重責を有します。「開かれた国会」の理念の下、より多くの方に参議院のことを御理解いただくとともに、感謝の声を直接頂くことがやりがいとなり、また、様々な業務を経験し、幅広い知識が身に付くことで自信へとつながることが大きな魅力です。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

特別体験プログラムの流れ



1 朝一番で予約電話などの対応をします。予約は3か月前の月初めから、先着順に電話で受け付けています。予約開始日には多くの電話が入るため、対応に追われます。

2 プログラム開始30分前から、参加団体が入場できるように会場へ向かいます。テーマとなる模擬法案に合わせて、児童・生徒用の台本などを準備します。

3 会場入口で参加団体をお迎えし、座席まで誘導します。また、後でお渡しする会議録に掲載するために、議長や委員長などの役割をお願いする児童・生徒に氏名を記入してもらいます。

4 さあ、プログラム開始です。全体に声が聞こえるようにマイクを使って進行します。ビデオで国会の仕組みなどを学習した後、模擬の委員会と本会議、最後は全員で押しボタン式投票を行い、法律ができるまでの流れを学んでもらいます。

5 プログラム終了後、印刷した会議録をお渡しして退場となります。忘れ物がないか、すべての座席を確認します。片付けと次回の準備を済ませて会場を後にします。

6 夕方には、1週間後に参加予定である団体の代表者と電話で事前打合せを行います。予約内容や当日の行程についての最終確認となる重要な打合せです。最後に翌日の資料や台本の準備をして1日の仕事が終了です。お疲れさまでした！



庶務部
情報システム
安全管理室

中島 恭介

(なかしま きょうすけ)
平成28年入局

情報システム安全管理室は、参議院の情報システムの運用・管理を行っている部署です。参議院内のネットワーク環境の構築・整備や、議員及び議員秘書、そして我々職員が使用するパソコンの管理、参議院事務局の業務を円滑に進めるための各種システムの提供など、いわゆるIT面において参議院の活動をサポートしています。また、日々、サイバー攻撃の脅威にさらされており、参議院の情報や活動を守るためのセキュリティ対策も、情報システム安全管理室の業務です。

その中で私が担当している業務は、職員が利用する業務システムの管理やメールアドレスの作成、パソコンの設置など、職員のネットワーク利用に関する事務手続や調整などです。入局以降、最も印象に残っている業務は、職員が利用しているネットワーク環境とパソコンを全面的に更新したことです。この業務は5年に一度の大きなプロジェクトで、入局直後から携わりました。連日、新しいネットワークでの運用方法や、パソコンの設定様式など、専門技術を持った民間の業者と様々な会議を行いました。そのほか職員に対するパソコンの割当てや各パソコン固有の設定情報の取りまとめから、職員に配付する利用マニュアルの作成など、更新の業務は多岐にわたり、やりがいのある貴重な経験を得ることができました。

また、この業務の一番の魅力は、様々な方と交流を持てることです。情報システム安全管理室と聞くと、一日中パソコンとにらめっこしている姿を連想されるかもしれませんが、確かにパソコンを使用した業務もありますが、前述のように民間の業者と共同で仕事をしたり、様々な部署の職員や議員及び議員秘書、ときには行政府の職員とやりとりをすることもあります。そうした交流から日々刺激を受け、常に新鮮な気持ちで働いています。

参議院事務局職員 Q&A

Q 参議院事務局を選んだ理由

立法府である国会で働くことにより、日本の未来が形作られていく瞬間に立ち会えることが、大変魅力的でした。また、「良識の府」、「再考の府」という参議院の役割に共感したことが、参議院事務局を選んだ理由です。

Q 仕事のマストアイテム

私にとってのマストアイテムは、付箋です。やるべきことをメモするとき、伝言を残すとき、資料に気になる場所があったときなど、様々な場面で役に立ちます。特に資料の確認を行うことが多いので、重要だと思った部分や、後から調べたいと思った部分に付箋を貼り、それぞれにコメントを付して後から見直すといった使い方をよくします。今では仕事になくはならないものです。



Q 今後の目標

今後、配置換により様々な業務を経験することになりますが、今のうちに働き方の土台をしっかりと固めることが、現在の目標です。それぞれの部署で行う業務は異なりますが、共通する働き方や考え方があると思います。職場が変わっても適応できるような下地を作っていきたいです。

受験生へのメッセージ

就職活動に当たり、様々な候補を検討されていると思いますが、このパンフレットを通じて少しでも参議院事務局に興味を持っていただけたら幸いです。参議院事務局で働きたいという熱い思いを持った皆さんとともに、参議院を支えていくことができる日を楽しみにしています。

